



コスモス

NO.36

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

『クリスマス演奏会&ペープサート劇』

～あわてんぼうのサンタクロース他&マッチ売りの少女～

財田小学校の12月恒例となった、『クリスマス演奏会&ペープサート劇』。七夕とクリスマスの時期に行っているこの会は昼休みに行っており、子どもたちの参加は自由です。けれども、毎回毎回、会場の〈オープンスペース西〉から溢れ出しそうなくらいたくさん子どもたちが集まってくれます。演奏がいいのか？ペープサート劇がいいのか？その両方がいいのか？分かりませんが、とにかくたくさん子どもたちが集まってくれます。今回はあんまり集まらなかったらさびしいなあ・・・、という不安もありましたが、今回もたくさん集まってくれました。ありがとうございました。

まずは、演奏会。曲目は♪もみの木♪と♪あわてんぼうのサンタクロース♪。あわてんぼうのサンタクロースの時には、誰からともなく自然と歌い始め、大合唱と言ってもいいほどになりました。音楽はすごいなあ！財田小学校の子どもたちはすばらしいなあ！と実感しました。それと、今回もスペシャルゲストとして、前校長の丸岡先生が駆けつけてくださいました。丸岡先生は音楽が特に専門ということもあり、自前の鍵盤ハーモニカを持参してすばらしい演奏を聴かせてくださいました。ありがとうございました。

後半は、ペープサート劇『マッチ売りの少女』でした。実はここでもスペシャルゲストが声（というより音）で登場してくださいました。前教頭奥田先生と、前スクールサポートスタッフ寶田先生です。何と、マッチを擦った時の「シュッ」という音を声で演じてくれ、それを予め録音しておき、そのタイミングで登場してもらいました。ありがとうございました。

肝心の劇とは言いまして、今回何と私齋藤がマッチ売りの少女役に抜擢されました。少女が寒さに震えながら死んでしまう悲しいお話なのに、「私が少女でいいのかなあ」とちょっと躊躇しましたが、精いっぱい頑張りました。

実はこのお話、むか～しむかし、私がまだ幼かった頃、毎晩のように読んでもらっていた「アンデルセン童話集」の中の一つだったのです。今のようになんか絵本があったのかなかったのかはよく分かりませんが、私はこの童話集のことだけを覚えています。悲しいお話ですが、毎晩のように聞いていました。ちなみに、他には「みにくいアヒルの子」「はだかの王様」「おやゆび姫」があったと思います。最近のことはすぐに忘れてしまう今日この頃ですが、あの頃のことは、はっきりと覚えています。

話が逸れましたが、今回も素敵なクリスマスコンサート&劇になったと自画自賛しています。このクリスマスイベントは、いろいろな所で行われているクリスマスイベントにはとてもかなわない、ささやかなイベントですが、子どもたちの喜ぶ笑顔や驚きの歓声を聞くと、「やってよかったなあ。」とうれしい気持ちでいっぱいです。最後には、貴重な昼休みに集まってくれた子どもたちにクリスマスコースターをプレゼントとして渡しましたが、折り紙で折った青いハートをプレゼントしてくれた子もいました。ありがとうございました。大切にします。

